

思考活動

【目的】知識・技能を活用・発揮し、より深い理解につなげるため。

【基本的な考え型】生徒が深い学びへと進んでいくための鍵となる活動。各教科等の専門的な特質（教科の「見方・考え方」）を生かして考える活動にする。

頭の中をぐるぐる回す時間

【基本のスタイル】思考させる工夫として、何を使って？どのようにして？考えの可視化・操作化の手だては？どんな発問をして？の要素を設定する。

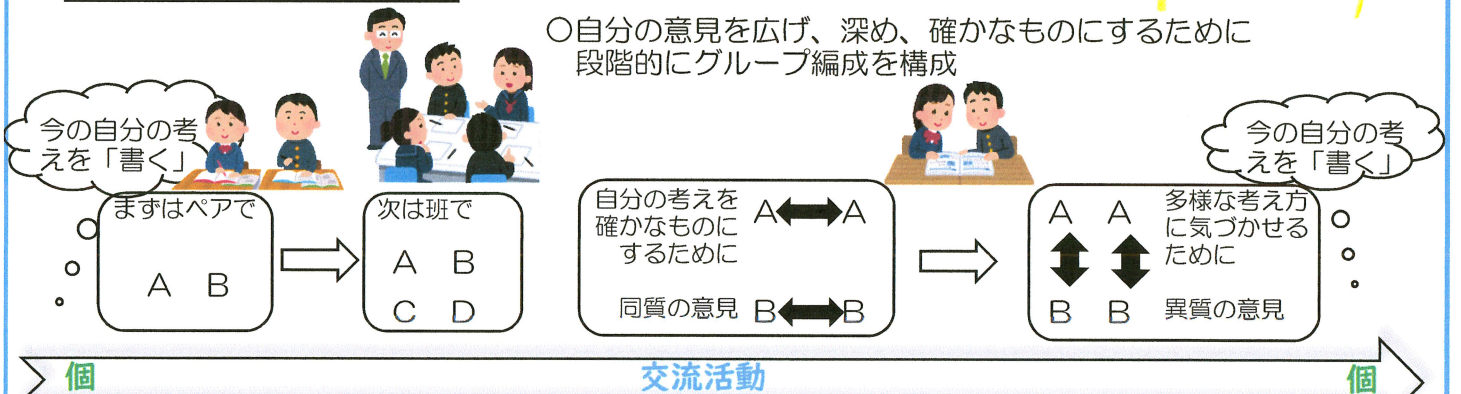
交流活動	何を 使って？	教材 どのような教材で？ ○学習内容を総合的に生かして考える教材 ○身近な対象などを工夫した学習課題 など	資料 どのような資料で？ ○適切な加工をした資料 ○視点を協調した資料やモデル提示、実験結果の記録、グラフ、図、絵 など	書く活動
	どのようにして？	～と～を関連付けて、 ～と～を比較して（～と～の共通点・相違点は・・・）、 ～からわかること（規則性）を整理して、 ～に着目して など		
	考えを可視化・操作化する手立て	○ICT機器 ○思考ツール ○付箋 ○ホワイトボード ○モデル ○KJ法 ○学習プリント など		
	どんな発問？	“考え始めるきっかけ” 例) 「この2つに共通している工夫点は何だろう」		
	考えを整理する手立て	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px;">構造的な板書</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px;">ノート指導</div> </div>		

考えを広げ深める方法として「交流活動」
他者の考えと比較し、検討することで自分の考えを見直す。何のために交流させるのか、目的のある活動にする。

考えを表現する方法として「書く活動」
「『書く活動』ポイント9」のどのポイントを使って書かせるかイメージする。

交流のグループ例

- 見方・考え方の広がりや深まりを生み出すためのグループ編成を工夫（ペアで、班で、全体で、異質・同質で・・・など）
- 自分の意見を広げ、深め、確かなものにするために段階的にグループ編成を構成

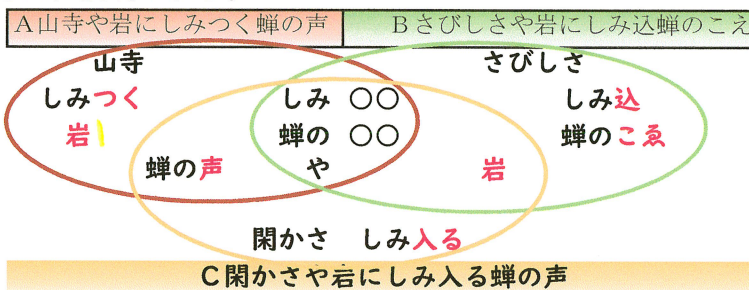


思考活動例

【国語科】「おくのほそ道」の文を比較して、芭蕉の句を詠み深める思考活動

〔めあて〕芭蕉が何度も俳句を作り直した理由を「立石寺」の章段に着目して考え、説明しよう。

芭蕉が「立石寺」で完成させた俳句はA～Cのどれでしょうか。地の文を根拠にして考えましょう。



「地の文」
山形領に立石寺という山寺あり。慈覚大師の開基にして、ことに清閑の地なり。一見すべしよし、人々の勤むるによりて、尾花沢よりとつて返し、その間七里ばかりなり。日いまだ暮れず。ふもとの坊に宿借りおきて、山上の堂に登る。岩に巖を重ねて山とし、松柏年旧り、土石老いて蒼滑らかに、岩上の院々扉を閉ちて物の音聞こえず。岸を巡り、岩をはひて、仏閣を拜し、佳景寂寥として心澄みゆくのみおほゆ。

